

発行：新穂行政サービスセンター
お問合せ先：新穂行政サービスセンター
電話0259-22-3111

(担当：土屋(一)、川上、土屋(嘉))

大勢の参加ありがとうございました！

集落長との意見交換会を開催しました!!!

佐渡市新穂地区では「住民主体の地域づくり」を推進していくのにあたり、去る9月12日(月)午後7時から、地区内の集落長さんを対象に「地域づくり推進に関する意見交換会」を開催し、「各集落・新穂地区の現状と課題について」をテーマにワークショップ形式で意見をお聴きしました。

集落長という立場として、また新穂の住民として日ごろ感じていることを各々カードに記入し、その後カードを集約しまとめたものをグループごとに発表していただきました。

本号では、ワークショップの様子や意見のまとめ、参加者の声をお知らせします。



カードの記入



思いついたことをカードに記入します

カードの分類



共通する項目をグループで分類していきます

グループ発表



4つのグループそれぞれの新穂地区に対する熱い想いが伝わってきます

意見のまとめ

各グループから出された意見の一部を掲載します。集落等の枠を超えて連携する仕組みづくり、若い世代が今後について真剣に向き合えるような体制づくりなど今後取り組むべき貴重なご意見をたくさん頂戴しました。

☆各集落・新穂地区の現状・課題は...

- ・相互扶助の精神が衰退している
- ・地域行事への関心が低い
- ・他集落との連携、協力ができていない
- ・商店街は店が減って人通りがほとんどない
- ・若手は青年会、スポーツ活動に比較的関心があり活気もある

☆このままの状態だとしたら 10年後の各集落・新穂地区は...

- ・限界集落になってしまう
(65歳以上が半数以上)
- ・祭礼や行事ができなくなってしまう
- ・他集落との合併・吸収を検討せざるを得なくなる
- ・集落組織の活動・運営等に支障が出てくる
- ・(マイナスの)現状維持を目標とするのが精一杯である

☆今後各集落・新穂地区で取り組みたいこと

- ・老人力の活用
- ・祭礼行事の見直し、簡素化
- ・女性の集落運営への積極的な参加・しくみづくり
- ・他地区の成功事例を取り入れる
- ・若い世代が今後について真剣に向き合えるような仕組みづくりを構築する

★新穂ふるさと夏まつり、鬼太鼓inにいぼ朱鷺夕映え市などへの意見

- ・イベントは楽しいから自然と人が集まる。だから大切である。しかし主催者は大変。人がいない。金がない。与えられてやるのではなく、自分たちからやってみようという姿勢が見られると運営も変わってくるのでは？
- ・現状は開催者が固定化されているが、運営団体の枠を超えてやりたい人・やる気のある人たちを集めてみたらどうか？
- ・主催者側はよくやっている。ぜひ今後も続けていただきたい。どんなことができるか具体的なことはよく分からないが、手助けできることは地域住民みんなで協力し合って何とか今の状態を維持してもらいたいと思っている。



参加者の声

2時間超の長丁場でしたが、非常に有意義な意見交換でした。

- ◎他集落の現状が聞けて良かった。同じような悩みがあるんだなと思った。
- ◎大きく重たい内容なのでもっと話し合い、意見を交換する時間が必要であり、具体的な対策を考えることも大切である。
- ◎集落長として集落の課題は把握しているつもりだが、新穂地区全体について考えていなかった。

～ 懇談会で地域づくりを一緒に考えてみませんか？ ～

「新穂地域づくり懇談会」への参加メンバーを募集します！

◎開催日時：第1回 28年10月13日(木) 19:00-21:00

第2回 28年10月27日(木) 19:00-21:00

※ 年内に5回程度の開催を計画しています。

第3回目以降の日程は、参加者の皆様のご意見を踏まえて決定します。

◎参加対象者：新穂地区にお住まいの方 あるいは 新穂地区でお仕事をされている方
(20名程度)

◎会場：新穂行政サービスセンター 2階 学習室

◎内容： 地域の将来像等について
 将来像を実現するための具体策について
 地域づくり組織の創設について ほか

◎申込み方法：10月6日(木)までに、新穂行政サービスセンターまでご連絡ください。
ご参加していただく方には、第1回開催通知を送付します。

※ 申し込み多数の場合は、抽選にて参加者を決定させていただきますので、ご了承ください。

